



オンプレミスの **ONTAP** クラスターを管理

On-premises ONTAP clusters

NetApp
April 30, 2024

目次

オンプレミスの ONTAP クラスタを管理	1
直接検出されたクラスタを管理します。	1
コネクタで検出されたクラスタを管理します。	2
クラスタ情報と契約の詳細を表示します	7
BlueXPデジタルアドバイザーを使用してクラスタを最適化	8
オンプレミスの ONTAP 作業環境を削除	9

オンプレミスの ONTAP クラスタを管理

直接検出されたクラスタを管理します。

コネクタを使用せずにオンプレミスのONTAP クラスタを直接検出した場合は、作業環境を開いてクラスタを管理することができます。

作業を開始する前に

BlueXPコンソールにアクセスするために使用するコンピュータには、プライベートネットワーク内の他のリソースへの接続方法と同様に、オンプレミスのONTAP クラスタへのネットワーク接続が必要です。

制限

一部のSystem Manager機能は、BlueXPではサポートされていません。

["制限事項のリストを確認します"](#)。

手順

1. [Canvas]ページで、オンプレミスのONTAP作業環境を選択します。

作業環境アイコンは、直接検出されたクラスタを示します。



2. プロンプトが表示されたら、ONTAP クレデンシャルを入力します。

クレデンシャルを保存しない場合は、作業環境を開くたびにONTAP クレデンシャルでログインするように求められます。クレデンシャルを保存して、毎回入力する必要がないようにすることもできます。このオプションを使用すると、資格情報はBlueXPユーザーのみに関連付けられます。アカウント内の他のユーザーが使用するために保存されることはありません。

ONTAP Cluster Credentials

Enter credentials for ONTAP Cluster

ONTAP Cluster IP: 192.168. 1.1

User name

Password

☐ Save the credentials ⓘ

ContinueClose

3. System Managerを使用してONTAP を管理する。

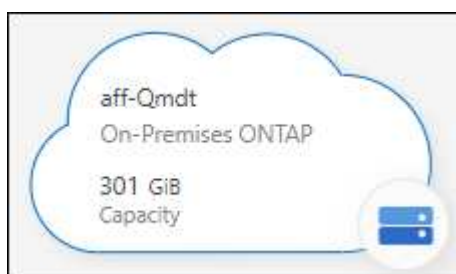
ONTAP でSystem Managerを使用する際にサポートが必要な場合は、を参照してください ["ONTAP のドキュメント"](#) を参照してください。役立つリンクをいくつか紹介します。

- ["ボリュームとLUNの管理"](#)
- ["Network Management の略"](#)
- ["データ保護"](#)

コネクタで検出されたクラスタを管理します。

コネクタを使用してオンプレミスのONTAP クラスタを検出した場合は、[標準]ビューでボリュームを作成し、[アドバンスド]ビューのSystem Managerを使用して、BlueXPデータサービスを有効にすることができます。

コネクタで検出したクラスタの作業環境アイコンは、Canvasで次のように表示されます。



作業環境が直接検出された場合は、作業環境アイコンに「Direct」という単語が表示されます。

標準ビューからのFlexVolボリュームの作成

コネクタを使用してBlueXPからオンプレミスのONTAPクラスタを検出したら、作業環境を開いてFlexVolボリュームをプロビジョニングおよび管理できます。

ボリュームを作成します

BlueXPを使用すると、既存のアグリゲートにNFSボリュームまたはCIFSボリュームを作成できます。オンプレミスのONTAP クラスタには、BlueXP Standardビューから新しいアグリゲートを作成できません。アグリゲートの作成には、アドバンスドビューを使用する必要があります。

手順

1. ナビゲーションメニューから、*ストレージ>キャンバス*を選択します。
2. [Canvas]ページで、ボリュームをプロビジョニングするオンプレミスのONTAPクラスタを選択します。
3. [ボリューム]>[ボリュームの追加]*を選択します。
4. ウィザードの手順に従って、ボリュームを作成します。
 - a. 詳細、保護、およびタグ：ボリュームの詳細（名前やサイズなど）を入力し、Snapshotポリシーを選択します。

このページのフィールドの一部は分かりやすいもので、説明を必要としません。以下は、説明が必要なフィールドのリストです。

フィールド	説明
サイズ	入力できる最大サイズは、シンプロビジョニングを有効にするかどうかによって大きく異なります。シンプロビジョニングを有効にすると、現在使用可能な物理ストレージよりも大きいボリュームを作成できます。
スナップショットポリシー	Snapshot コピーポリシーは、自動的に作成される NetApp Snapshot コピーの頻度と数を指定します。NetApp Snapshot コピーは、パフォーマンスに影響を与えず、ストレージを最小限に抑えるポイントインタイムファイルシステムイメージです。デフォルトポリシーを選択することも、なしを選択することもできます。一時データには、Microsoft SQL Server の tempdb など、none を選択することもできます。

- b. プロトコル：ボリュームのプロトコル（NFS、CIFS、またはiSCSI）を選択し、ボリュームのアクセス制御または権限を設定します。

CIFSを選択し、サーバがまだセットアップされていない場合は、Active Directoryまたはワークグループを使用してCIFSサーバをセットアップするように求められます。

以下は、説明が必要なフィールドのリストです。

フィールド	説明
Access Control の略	NFS エクスポートポリシーは、ボリュームにアクセスできるサブネット内のクライアントを定義します。デフォルトでは、BlueXPはサブネット内のすべてのインスタンスへのアクセスを提供する値を入力します。

フィールド	説明
権限およびユーザー / グループ	これらのフィールドを使用すると、ユーザとグループ（アクセス制御リストまたは ACL と呼ばれる）の SMB 共有へのアクセスのレベルを制御できます。ローカルまたはドメインの Windows ユーザまたはグループ、UNIX ユーザまたはグループを指定できます。ドメインの Windows ユーザ名を指定する場合は、domain\username 形式でユーザのドメインを指定する必要があります。

- 使用プロファイル：必要なストレージの総量を削減するために、ボリュームでStorage Efficiency機能を有効にするか無効にするかを選択します。
- 確認：ボリュームの詳細を確認し、*[追加]*を選択します。

FlexGroup ボリュームを作成します

BlueXP APIを使用してFlexGroupボリュームを作成できます。FlexGroup ボリュームは、ハイパフォーマンスと自動負荷分散を実現するスケールアウトボリュームです。

- ["APIを使用してFlexGroupボリュームを作成する方法"](#)
- ["FlexGroupボリュームとは"](#)

アドバンストビューを使用したONTAPの管理（System Manager）

オンプレミスのONTAP クラスタに対して高度な管理を実行する必要がある場合は、ONTAP システムに付属の管理インターフェイスであるONTAP System Managerを使用できます。BlueXPにはSystem Managerインターフェイスが搭載されているので、高度な管理のためにBlueXPを残す必要はありません。

この拡張ビューはプレビューとして使用できます。今後のリリースでは、この点をさらに改良し、機能を強化する予定です。製品内のチャットでご意見をお寄せください。

の機能

BlueXPの詳細ビューでは、次の管理機能を使用できます。

- 高度なストレージ管理
整合グループ、共有、qtree、クォータ、およびStorage VMの管理
- ネットワーク管理
IPspace、ネットワークインターフェイス、ポートセット、およびイーサネットポートを管理します。
- イベントとジョブ
イベントログ、システムアラート、ジョブ、および監査ログを表示します。
- 高度なデータ保護
Storage VM、LUN、および整合グループを保護する。
- ホスト管理

SANイニシエータグループとNFSクライアントを設定します。

サポートされている構成

System Managerによる高度な管理は、9.10.0以降を実行しているオンプレミスのONTAP クラスタでサポートされます。

GovCloudリージョンまたはアウトバウンドのインターネットアクセスがないリージョンでは、System Managerの統合はサポートされません。

制限

BlueXPでAdvanced Viewを使用している場合、オンプレミスのONTAP クラスタでは一部のSystem Manager機能はサポートされません。

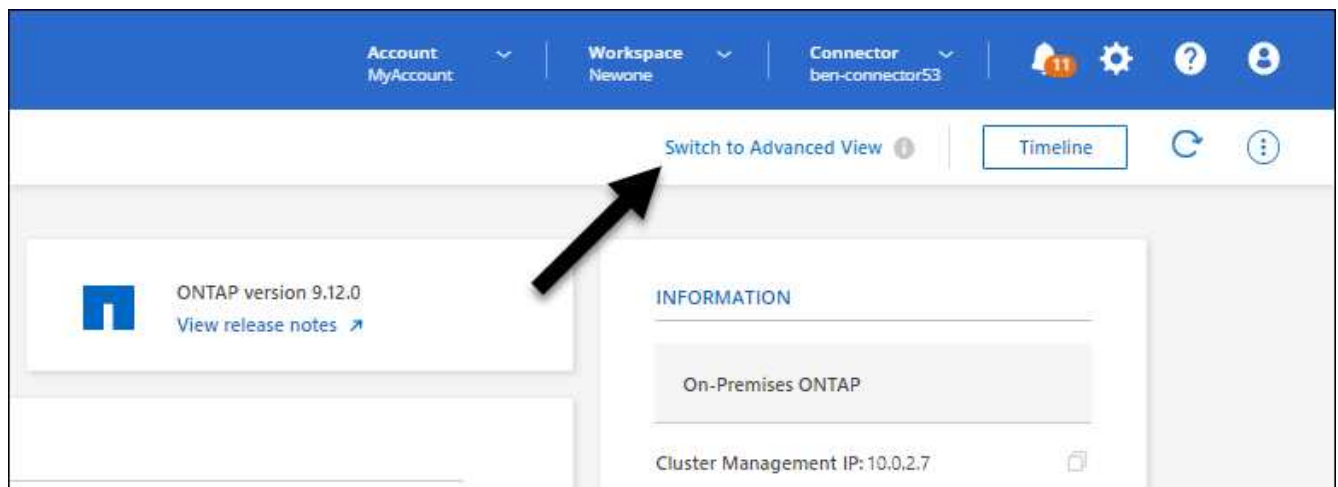
"制限事項のリストを確認します"。

詳細ビューの使用

オンプレミスのONTAP作業環境を開き、[アドバンストビュー]オプションを選択します。

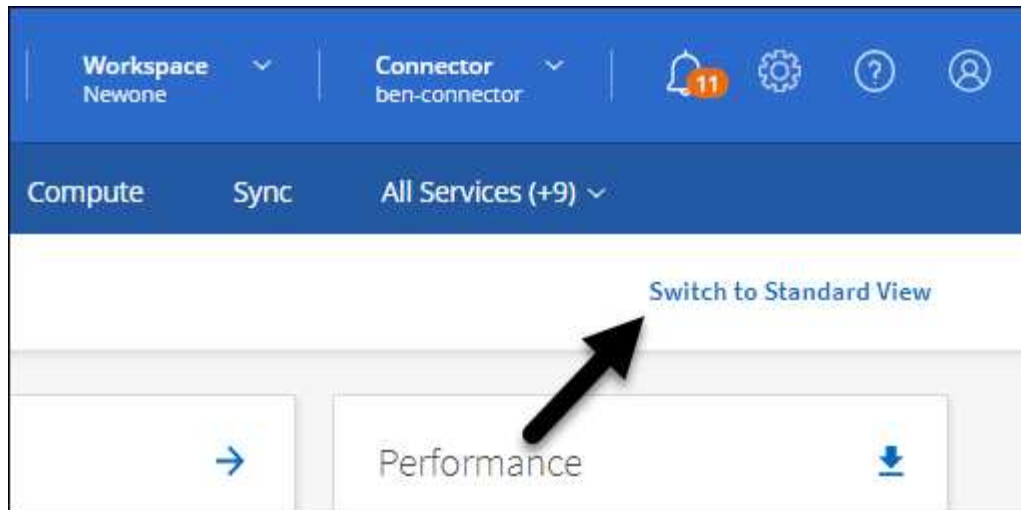
手順

1. [Canvas]ページで、ボリュームをプロビジョニングするオンプレミスのONTAPクラスタを選択します。
2. 右上の*[アドバンストビューに切り替える]*を選択します。



オプションを示すオンプレミスのONTAP 作業環境のスクリーンショット。"]

3. 確認メッセージが表示されたら、それを読み、*閉じる*を選択します。
4. System Managerを使用してONTAP を管理する。
5. 必要に応じて、*[標準ビューに切り替える]*を選択して、BlueXPでの標準の管理に戻ります。



System Managerのヘルプを参照してください

ONTAP でSystem Managerを使用する際にサポートが必要な場合は、を参照してください ["ONTAP のドキュメント"](#) を参照してください。役立つリンクをいくつか紹介します。

- ["ボリュームとLUNの管理"](#)
- ["Network Management の略"](#)
- ["データ保護"](#)

BlueXPサービスを有効にする

作業環境でBlueXPのデータサービスを有効にして、データのレプリケート、データのバックアップ、データの階層化などを実行できます。

データのレプリケート

Cloud Volumes ONTAP システム、Amazon FSx for ONTAP ファイルシステム、ONTAP クラスタ間でデータをレプリケートクラウドとの間でデータを移動するのに役立つ1回限りのデータレプリケーションと、ディザスタリカバリや長期的なデータ保持に役立つ定期的なスケジュールを選択できます。

["レプリケーションのドキュメント"](#)

データをバックアップ

オンプレミスのONTAP システムからクラウドの低コストのオブジェクトストレージにデータをバックアップします。

["バックアップとリカバリの文書化"](#)

データをスキャン、マッピング、および分類します

社内のオンプレミスクラスタをスキャンして、データのマッピングと分類、個人情報の特定を行います。これにより、セキュリティとコンプライアンスのリスクを軽減し、ストレージコストを削減し、データ移行プロジェクトを支援できます。

["分類に関する文書"](#)

データをクラウドに階層化

ONTAP クラスタからオブジェクトストレージにアクセス頻度の低いデータを自動的に階層化することで、データセンターをクラウドに拡張します。

"階層化に関するドキュメント"

健全性、アップタイム、パフォーマンスを維持

システム停止や障害が発生する前に、推奨される修正策をONTAP クラスタに実施

"運用の耐障害性に関する文書化"

容量が少ないクラスタを特定します

容量が少ないクラスタを特定したり、クラスタを確認して容量の予測を確認したりできます。

"経済効率に関する文書化"

クラスタ情報と契約の詳細を表示します

BlueXPデジタルウォレットを使用すると、オンプレミスのONTAP クラスタごとに契約の詳細を確認できます。BlueXPでクラスタをまだ検出していない場合は、デジタルウォレットから検出することもできます。

作業を開始する前に

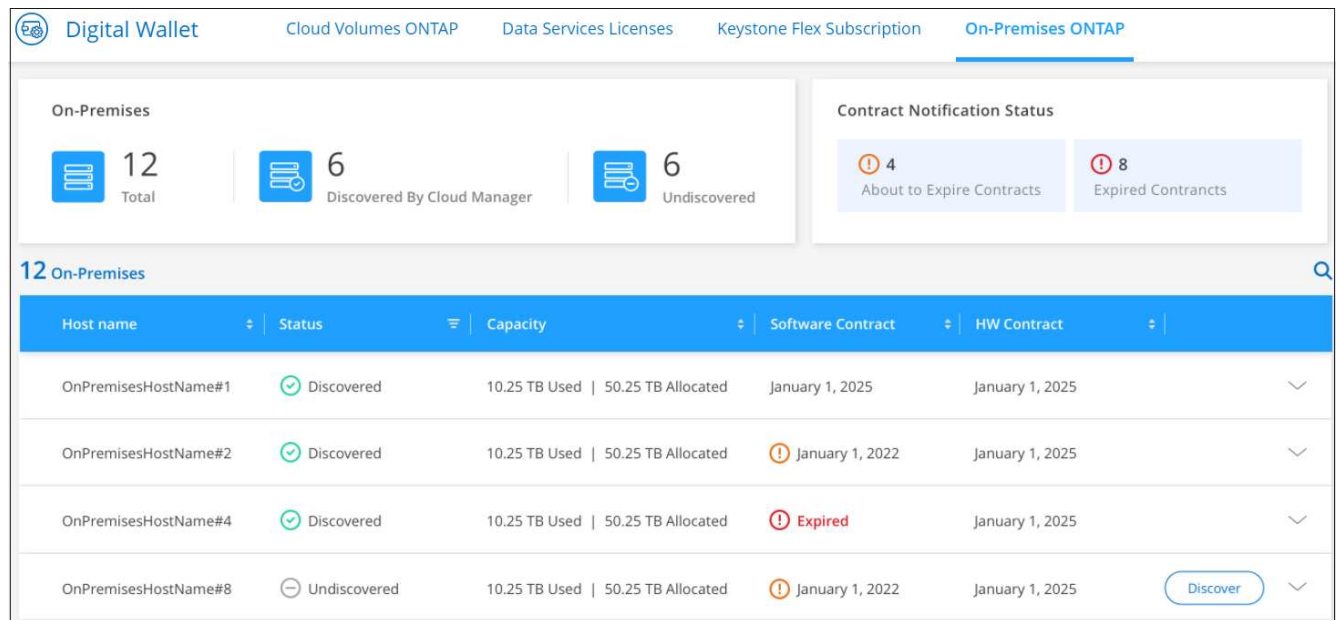
BlueXPデジタルウォレットには、作業環境として検出したオンプレミスのONTAP クラスタ、またはBlueXPに追加したNetApp Support Site アカウントに関連付けられているオンプレミスのクラスタに関する詳細が表示されます。

手順

1. BlueXPナビゲーションメニューから、* Governance > Digital Wallet *を選択します。
2. オンプレミスONTAP *を選択します。

NetApp Support Site (NSS) アカウントのクレデンシャルを最初に入力するように求められたら、サポートダッシュボードに入力します。アカウントを追加すると、そのアカウントに含まれているクラスタが表示されます。

各クラスタの行にソフトウェア契約とハードウェア契約の有効期限が表示されます。



3. 作業環境としてクラスタが検出されていない場合は、*[検出]*を選択し、画面の指示に従います。

クラスタを検出すると、そのクラスタを作業環境としてBlueXPで管理できるようになります。

関連リンク

"オンプレミスのONTAP クラスタのライセンスをBlueXPデジタルウォレットで管理する方法の詳細をご確認ください"

BlueXPデジタルアドバイザーを使用してクラスタを最適化

BlueXP Digital Advisorを使用すると、ONTAP クラスタの運用、セキュリティ、パフォーマンスを最適化できます。

の機能

BlueXPデジタルアドバイザーを使用すると、ストレージシステムの全体的なステータス、システムの健全性に関する概要情報、インベントリ、計画、アップグレード、貴重な分析情報などを監視リストレベルで確認できます。

- ストレージシステムの健全性を分析し、最適化できます
- ストレージシステムのすべてのリスクと、リスクを軽減するための対処方法に関する分析情報を取得できます
- を表示して、ストレージデバイスのパフォーマンスを分析します パフォーマンスデータのグラフ形式
- 容量の 90% を超えたシステムまたはを超えたシステムに関する詳細を確認できます 容量の使用率が 90% に近づいています
- 期限切れのハードウェアおよびソフトウェアに関する情報を取得します または、今後 6 か月以内に期限切れに近いものとします
- ストレージシステムソフトウェアをアップグレードし、Ansible で ONTAP ファームウェアを更新します

サポート対象の **ONTAP** システム

Digital Advisorは、NetApp Support Site（NSS）アカウントに関連付けられているすべてのオンプレミスONTAP システムとCloud Volumes ONTAP システムに関する情報を提供します。

詳細情報

["Digital Advisorドキュメント"](#)

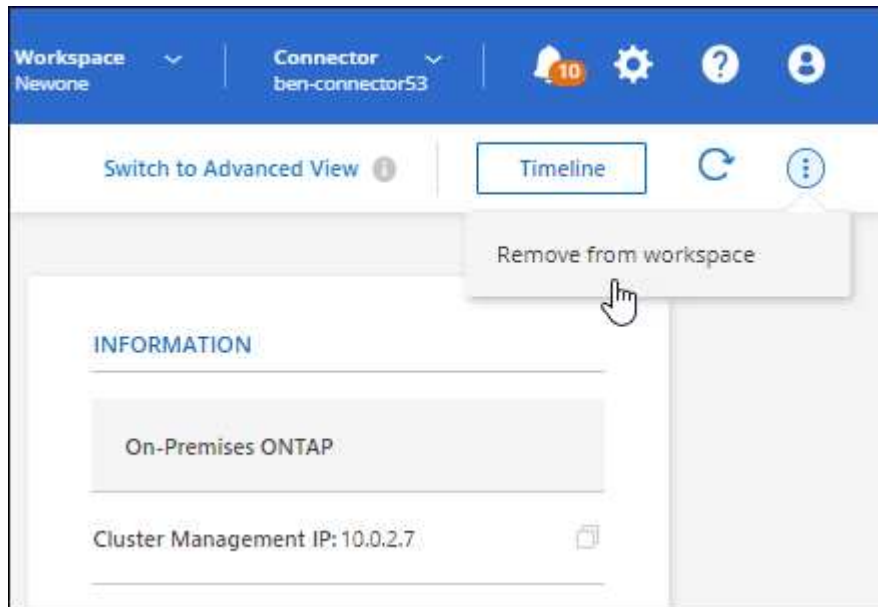
オンプレミスの **ONTAP** 作業環境を削除

ONTAP 作業環境をBlueXPから管理する必要がなくなった場合は'オンプレミス環境を削除'します

作業環境を削除しても、ONTAP クラスタには影響しません。BlueXPからいつでも再検出できます。

手順

1. [Canvas]ページで、オンプレミスのONTAP作業環境を選択します。
2. メニューアイコンを選択し、*ワークスペースから削除*を選択します。



オプションを示すスクリーンショ

ット。"]

3. [削除]*を選択して確定します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。